

研究課題：外科手術後の化学療法の開始時期と外科的合併症の検討

1. 研究の目的

当院では悪性腫瘍のお子様に対して全国でも有数の治療件数があります。

治療開始の前には、その腫瘍の原因を確認するために、外科手術で腫瘍の一部を採取してから化学療法を行うことが多いです。あるいは、化学療法後に外科的に腫瘍を切除し、その後改めて化学療法を行うこともあります。

外科手術後にできるだけ早くにこうした化学療法を行うことが治療の上では重要ですが、これらの化学療法は治療の過程で様々な負担がかかるもので、外科手術後では傷が開いてしまうことや、傷の感染が起きてしまう懸念などがあり、外科手術後にどのぐらいの期間をあけるのが安全かなどはわかっていません。

今回私たちは当院で外科手術後に化学療法を行った過去の症例を遡って検討し、外科的合併症の発生について検討する研究を企画しました。

2. 研究の方法

当院で過去(2005年～2020年)に固形腫瘍に対する外科的手術(腫瘍生検術または根治術)後に化学療法を行った患者様で、創部感染や出血などの外科的合併症があったか、術後どのぐらいの期間で化学療法を開始したかを検討させていただきます。

3. 研究期間

研究承認日～2022年3月31日

4. 研究に用いる資料・情報の種類

上記に該当する患者様の手術画像・検査データ等を参照し、データとして解析させていただきます。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

研究成果が出ましたら、学術集会や論文雑誌等でご報告させていただきます。

6. 研究組織

埼玉県立小児医療センター

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2021年3月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）